

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-126	高等学校	国語科	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国総 342	国語総合		


1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」を、学習活動を通じて実現できるように編修しました。すなわち、言語や文化についての幅広い知識や教養を身に付け、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養えるようにしました。同時に、生命を尊び、自然を大切に、主体的に社会の形成に参加する態度、伝統と文化を尊重する態度、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。

幅広い知識や教養

「ものことば」

鈴木孝夫



「世界は分けてもわからない」


評論四

現代文編 P58・159

国際社会に寄与する態度

「薔薇のボタン」

柳久美子



「私が行くところ」

随想

薔薇のボタン・私が哀号と眩くとき

現代文編 P78・85

2. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標**を達成するために、構成・内容と教材の選択について、以下のような方針で編修しました。

各単元の構成と内容

- 1 幅広い知識と教養を身に付け、表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように構成しました。
- 2 個人の価値を尊重し、一人一人が能力を伸ばし合い、創造性を培えるように学習活動を工夫しました。
- 3 各領域とも幅広い言語活動を通して、国語学習の**基礎的・基本的な能力**を育成することを重視しました。
- 4 さまざまな言語活動を通して、**言葉への興味・関心**を養うことができるように教材化しました。

教材の選定について

- 1 評論は、現代社会が抱える諸課題について、**幅広い知識と教養を身に付け**、自ら考察を深めることができるものを厳選しました。
- 2 小説は、長く読み継がれている名作をはじめ、生徒にとって親しみやすい同時代の作家の作品を厳選し、**豊かな情操と道徳心を培える**よう配慮しました。
- 3 友人と、話し合ったり文章で気持ちを伝え合ったりする活動を通して、**自他の敬愛と協力を重んずる態度を養える**教材を選定しました。
- 4 **我が国の国土と郷土の美しさ、伝統文化の豊かさ**について知り、**日本語を愛する心をはぐくむ**教材を多数選定しました。また、古典の世界と現代とをつなぐ言語活動を通して、私たちと古人との**言語文化の共通点や相違点**について考えることができるコラム教材を設定しました。

3. 対照表

図書の内容・構成と**教育基本法第二条の第1号から第5号**との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
現代文編		
評論一 ダイヤモンドと希望 森岡正博 自由な主体になるために 西研 評論を読むために 1	「ダイヤモンドと希望」では、「人間の尊厳」について考えることで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養い、「自由な主体になるために」では、「社会」と「倫理」の関係を改めて問い直すことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号、3号〉	P10-21

図書構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
小説一	羅生門 芥川龍之介 読み比べよう 指 鷲沢 雨 小説を読むために1	「羅生門」では、「下人」の行動や心情の変化を読み取ることで、正義と責任を重んずる態度や真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を育てるようにしました。また、「指」では、登場人物の行動や心情の変化を読み取ることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにしました。〈第1号、2号、3号〉	P22-45
評論二	水の東西 山崎正和 仮想化する現実世界 高山 博 ものとことば 鈴木孝夫 評論を読むために2	「水の東西」では、日本と西洋の「水」の捉え方の違いを知り、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、我が国や他国の伝統と文化を尊重する態度を養い、「仮想化する現実世界」では、現代社会についての考察を通して、主体的に社会の形成に参画する態度を養い、「ものとことば」では、「ことば」の本質的な役割について考えることで真理を求める態度を養えるようにしました。〈第1号、3号、5号〉	P46-67
詩	鶯のうへ 三好達治 サーカス 中原中也 わたしが一番きれいだったとき 茨木のり子	「鶯のうへ」「サーカス」「わたしが一番きれいだったとき」では、近代から現代を代表する詩人の作品にふれ、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を育てるようにしました。〈第1号〉	P68-77
随想	薔薇のボタン 梯 久美子 私が哀号と眩くとき 五木寛之 フィクションの役割 小川洋子	「薔薇のボタン」「私が哀号と眩くとき」では、過去のできごとを調べたり、調べたことを人々に伝える活動について考えたりすることで、豊かな情操と道徳心を培うとともに、生命を尊ぶ態度、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。「フィクションの役割」では、作家という職業を選択した筆者の思いにふれ、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。〈第1号、2号、4号、5号〉	P78-99
評論三	自由の制服 鷲田清一 ブナの森で 内山 節 思い出せない記憶 茂木健一郎 評論を読むために3	「自由の制服」では、「制服」の意味を問い直すことで、個人の価値を尊重し自主及び自律の精神を養い、「ブナの森で」では、人間と自然の関係についての筆者の考え方にふれ、生命を尊ぶとともに自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。また「思い出せない記憶」では、言葉がたなく我が国の歴史と伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第2号、4号、5号〉	P100-125
小説二	清兵衛と瓢箪 志賀直哉 ナイン 井上ひさし 小説を読むために2	「清兵衛と瓢箪」では、主人公と周りの大人たちの描かれ方を読み、個人の価値を尊重してその能力を伸ばすとともに、創造性を培い、「ナイン」では、人と人とのコミュニケーションについて考え、自主及び自律の精神を養うとともに、勤労を重んずる態度や真理を求める態度、豊かな情操を養えるようにしました。〈第1号、2号〉	P126-147
短歌・俳句	折々のうた 大岡 信 作品	「折々のうた」「作品」では、伝統的な文学形式の作品にふれることを通じて、豊かな情操と道徳心、創造性を培うとともに、我が国の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、他国を尊重する態度を養えるようにしました。〈第1号、2号、5号〉	P148-157
評論四	世界は分けてもわからない 福岡伸一 白への跳躍 原 研哉 二十世紀の自画像 加藤周一 評論を読むために4	「世界は分けてもわからない」では、私たちの「認識」の限界について自覚し謙虚になることによって、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を育てるようにしました。「白への跳躍」では、「白」という感性について考えることで、真理を求める態度、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。「二十世紀の自画像」では、これからの私たちの社会が「科学技術」をどのように統御していくか考えることで、真理を求める態度や、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第1号、3号、4号〉	P158-181
小説三	神馬 竹西寛子 なめとこ山の熊 宮沢賢治 小説を読むために3 文学はなんの役に立つか	「神馬」では、主人公の「少女」と神馬との関わりを読み取ることで、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるようにしました。また「なめとこ山の熊」では、猟師の「小十郎」と「熊」の関わり方を読み取ることで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第2号、4号〉	P182-207
表現1～10		「表現」では、日常生活での身近な表現活動を通じて、創造性を培い、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。〈第2号、3号〉	P208-232
古文編			
	古文を学ぶ	古典遺産の価値を知って、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心と、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。〈第1号、5号〉	P234-235
古文入門	児のそら寝／老僧の水練／ 羅城門	説話文学を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。また、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。〈第3号、5号〉	P236-251

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
随筆	徒然草 つれづれなるままに／ 亀山殿の御池に／応長 の頃／丹波に、出雲とい ふ所あり／静かに思へば 枕草子 ありがたきもの／雪の いと高う降りたるを	三大随筆のうち『徒然草』と『枕草子』を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。また、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号、5号)	P252-265
物語	伊勢物語 芥川／東下り／筒井筒 ／さらぬ別れ 竹取物語 かぐや姫の昇天	歌物語『伊勢物語』と日本最初の物語文学である『竹取物語』を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。(第5号)	P266-283
和歌	万葉集／古今和歌集／ 新古今和歌集	三大和歌集を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。自然賛歌を多く選び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第4号、5号)	P284-293
日記と紀行	土佐日記 門出／忘れ貝／住吉 の明神／帰京 奥の細道 旅立ち／平泉／大垣 俳諧	平安時代の日記文学である『土佐日記』と、江戸時代の『奥の細道』と俳諧作品を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。特に『土佐日記』では、亡子追慕の段を読むことにより、生命を尊ぶ態度を養います。(第4号、5号)	P294-311
軍記物語	平家物語 祇園精舎／木曾の最期	軍記物語の『平家物語』を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養い、戦いをめぐる古代の人々の諸相を読むことにより、生命を尊ぶ態度を養います。(第4号、5号)	P312-320
漢文編			
漢文入門	漢文を学ぶ／訓読の基礎／名言	古典遺産の価値を知って、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心と、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。また、漢文の歴史を知り、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第1号、5号)	P322-331
故事	借虎威／蛇足／朝三暮四	今に生きる古典である 故事 を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。(第5号)	P332-339
史伝	晏子之御／鶏鳴狗盗／ 死諸葛走生仲達	史伝 作品を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。(第5号)	P340-347
詩文	登鸛鵲樓／静夜思／江雪／ 涼州詞／送元二使安西／江南春 ／春望／香炉峰下新天山居草堂 初成偶題東壁／雑説	代表的な 唐詩 8編と韓愈の 名文 を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。「雑説」では、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす態度を養います。(第5号)	P348-357
思想	論語 孟子 仁人心也 知っていること、知らないこと (中野孝次)	我が国の思想に大きな影響を及ぼした 儒家の文章 を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度、また、自他の敬愛と協力を重ねて主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養います。(第1号、3号、5号)	P358-366

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

- ◎中学校までの学習を更に発展拡充させ、豊かな人間性や創造性をはぐくみ、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うとともに、高い教養、専門的な知識、技術及び技能を習得することができるよう、さまざまなジャンルから多種多様な文種の文章を厳選して構成しました。(学校教育法第五十一条 一、二)
- ◎言語活動によるコミュニケーションを通して自分というものを知り、個性の確立に向かって努力し、社会についての広く深い理解と健全な批判力と社会の発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(同三)
- ◎より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表示の工夫により、学びやすい紙面づくりに配慮しました。(同二)
- ◎教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しました。(同三)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-126	高等学校	国語科	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国総 342	国語総合		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 1 さまざまな言語活動を通して、言葉への興味・関心を高めることができるような教材化を目指しました。
- 2 現代社会が抱える諸課題について、幅広い知識と教養を身に付け、自ら考察を深めることができる教材を厳選しました。
- 3 長く読み継がれている名作をはじめ、生徒と同時代の親しみやすい作品も掲載して、豊かな情操と道徳心を培えるよう配慮しました。
- 4 我が国の国土の美しさ、郷土の温かさ、伝統文化の豊かさについて知り、日本語を愛する心をはぐむ教材を多数選定しました。また、古典の世界と現代とをつなぐ言語活動を通して、私たちと古人との言語文化の共通点や相違点について考えることができるコラム教材を設定しました。
- 5 自ら学び自ら考えることを重視し、生徒の主体の形成に資するような教材化を工夫しました。

教科書の構成

○ねらいと構成

教材を読み進めるうえで、読解のポイントとなる本文の箇所に「★」印をつけ、脚注欄に発問を補いました。生徒が、注意深く本文を読み進める一助にすることができます。

現代文編では、作品中で、身につけたい語彙、知っておきたい成句や慣用句などがある場合は、その語に「*」をつけ、見開きごとにとまとめました。

古文編では、重要古語を取り立て、教材末にまとめました。ここで取り立てた重要古語は、付録「重要古語一覧」に、その意味と訳し方・留意点などを掲げました。

▼評論一 水の東西 現代文編 P46-47



「学習の手引き」は、学習者が、基礎的・基本的知識をもとに、自ら課題を発見し解決できるよう、思考力・

判断力・表現力を高める工夫をこらした、新しい「学習の手引き」の形です。

現代文編では大きく、「理解」「表現」「発展」と、「言葉の学習」の二つの部分に分かれています。

「理解」「表現」「発展」では、作品の構成をつかむための設問、読解のポイントをおさえた設問、表現方法を捉えるための設問のほか、言語活動を促す設問も、適宜設けてあります。

「言葉の学習」は、作品の本文と関連させて、言葉の知識の定着を図る練習問題と、漢字習得のための「重要漢字」欄で構成されます。その他、「評論を読むために」「小説を読むために」では、小説や評論を読む際のポイントを、簡潔に解説しました。授業の参考としてはもちろん、自学自習のためにも役立つコラム教材です。

古文編の「学習の手引き」は、「理解」と「文法」で構成されます。「文法」では、その教材で取り立てて学習したい文法事項を系統的に取り上げ、直後の小教材「解釈のために」と関連して学習するようにしました。係り結びや音便などについては、「文法コラム」を適宜設けました。

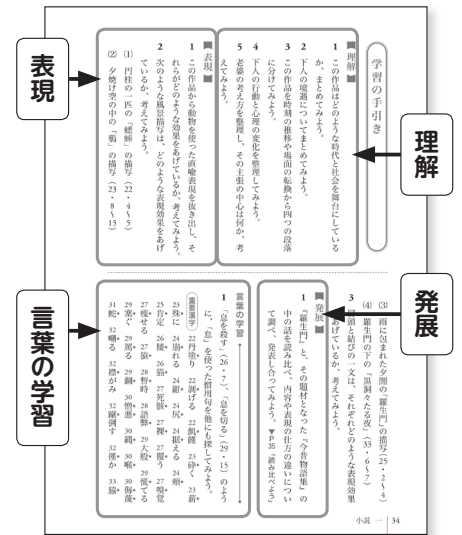
また、古代の人々の暮らしや社会を解説する「古典の窓」を適宜配置し、古典世界への興味・関心を高め、発展的な知識を広げることをねらいました。

漢文編の「学習の手引き」は、「理解」「練習」と「句型」で構成されます。「句型」には、本文中に出てくる重要な句型を抽出し、その用法と訳し方を示しました。「句型」は付録の「漢文基本句型の整理」にもまとめて掲げました。また、必要に応じて、他の領域の学習につながる活動を「発展」として掲げました。また、漢文の知識を深める「漢文コラム」を設けました。

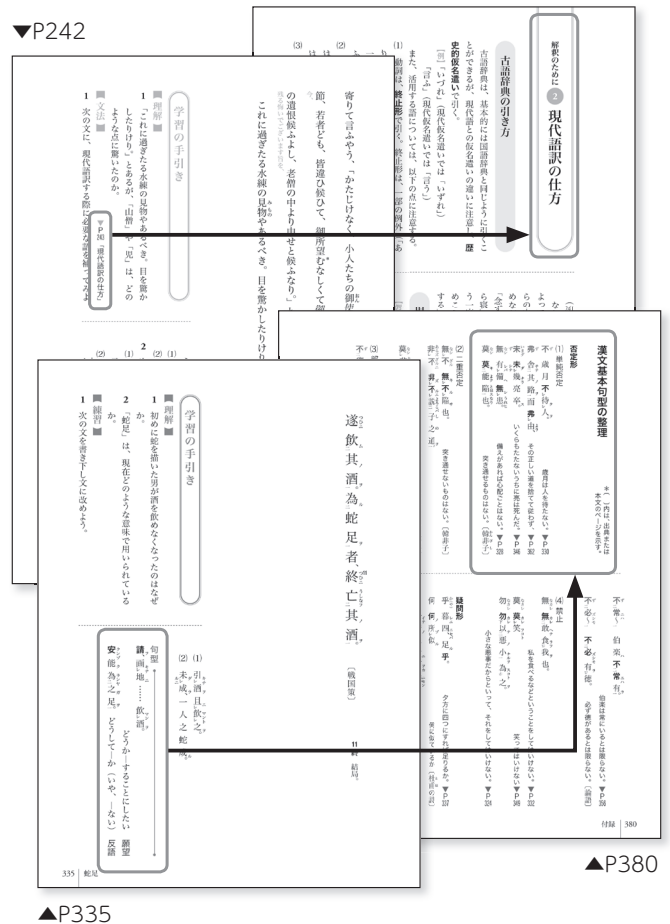
付録には、国語総合で学習する言語事項を支えるさまざまな資料を掲げました。

「古典文学要覧」では、単に年表を掲げるだけでなく、出典・作者の解題なども掲げて、大きな流れの中の「古典」を意識づけることができるよう工夫しました。

▼小説一 羅生門 P34



▼P243



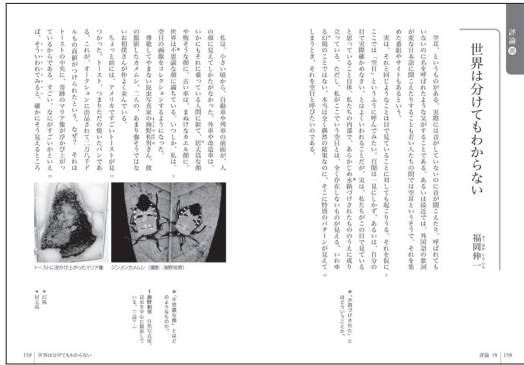
題材の特色

優れた日本の古典作品や近・現代の名作をはじめ、多様なテーマで配列された評論にふれることで、「読むこと」の能力を高め、生徒が主体的に読書し表現する契機となるような教材を選択・配置しました。

○現代文編

格調高い文章、定評ある作品等を採録して、論理的な文章を的確に読み、文学的な文章を味わう力を養うだけでなく、そこから人間・社会・自然などについて自分の考えを深め、発展させるよう留意しました。また、基礎的事項を確認し、話すこと・聞くこと、書くことの言語活動を効果的に取り入れ、積極的に表現することを通して生徒の生きる力を育成しうよう配慮しました。

ものの見方を広げる



評論四 世界は分けてもわからない P158-159

文学の本質に迫る



理想 フィクションの役割 P94-95

○古典編

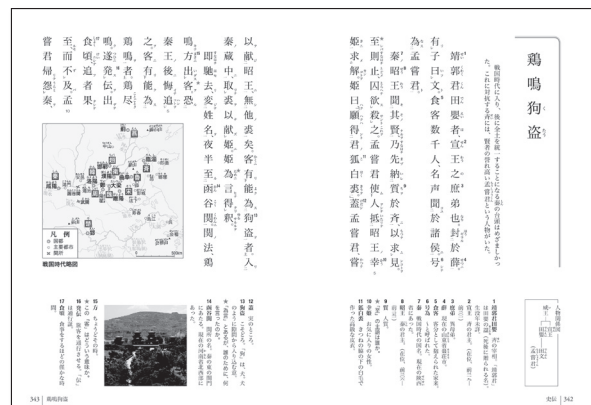
小・中学校でも学習したなじみのある作品、また、「古典B」へとつながる古典学習の基盤となる作品を中心に掲載しました。

古文編 宇治拾遺物語・古今著聞集・今昔物語集・徒然草・枕草子・伊勢物語・竹取物語・万葉集・古今和歌集・新古今和歌集・土佐日記・奥の細道・平家物語の13作品と、芭蕉・蕪村・一茶の俳諧作品。

漢文編 戦国策・列子・史記・十八史略・唐宋八家文読本・論語・孟子の7作品と、唐詩8首。また、古典に関連する近代以降の文章として、「知っていること、知らないこと」(中野孝次)を、論語に関連させて掲載しました。



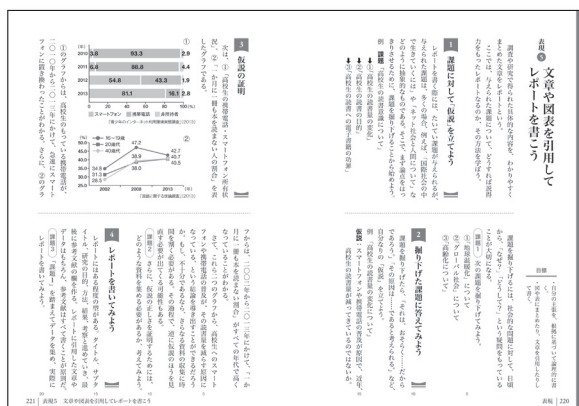
▲P256-257



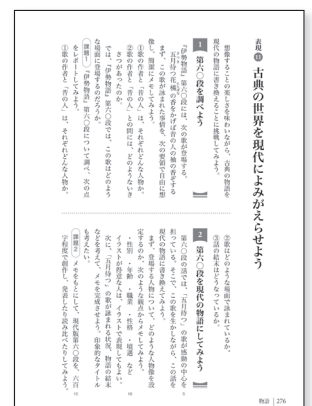
▲P342-343

言語活動の特色

現代文編末と古典編の適所に、「スピーチ」「話し合い」「レポート」「企画書」「実用文」などのさまざまな言語活動を盛り込んだ小教材を設定しました。「話す・聞く・書く」言語活動を通して、自分の考えが他者に伝わることの喜び、コミュニケーションの必要性を実感できるよう工夫しました。



▲表見5 文章や図表を引用してレポートを書こう P220-221



▲表見11 古典の世界を現代によみがえらせよう P276

2. 対照表

凡例 A=話すこと・聞くこと B=書くこと C=読むこと
 伝=伝統的な言語文化に関する項目 言=言葉の特徴やきまりに関する事項 漢=漢字に関する事項

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
現代文編			
評論一 ダイヤモンドと希望 森岡正博 自由な主体になるために 西 研 評論を読むために1 評論とは何か	C(1)アイエ (2)イ 言(7)(1) 漢(7)	P10-15 P16-20 P21	1 1
小説一 羅生門 芥川龍之介 読み比べよう 『羅生門』と『羅城門』 指 鷺沢 萌 小説を読むために1 小説という虚構	C(1)アウオ (2)イエ 言(7)(1) 漢(7)	P22-34 P35 P36-44 P45	3 2
評論二 水の東西 山崎正和 仮想化する現実世界 高山 博 ものことば 鈴木孝夫 評論を読むために2 「対比」の構造	C(1)アイエ (2)イウ 伝(7) 言(7)(1) 漢(7)	P46-51 P52-57 P58-66 P67	2 2 3
詩 蝨のうへ 三好達治 サーカス 中原中也 わたしが一番きれいだったとき 茨木のり子	C(1)アウエオ (2)エ 言(7)(1) 漢(7)	P68-69 P70-73 P74-77	1 1 1
随想 薔薇のボタン 梯 久美子 私が哀号と呟くとき 五木寛之 フィクションの役割 小川洋子	C(1)アウオ (2)ウエ 伝(7) 言(7)(1) 漢(7)	P78-83 P84-93 P94-99	1 2 1
評論三 自由の制服 鷺田清一 ブナの森で 内山 節 思い出せない記憶 茂木健一郎 評論を読むために3 評論の構成・論証	C(1)アイエ (2)ウエ 伝(7) 言(7)(1) 漢(7)	P100-108 P109-116 P117-124 P125	2 2 2
小説二 清兵衛と瓢箪 志賀直哉 ナイン 井上ひさし 小説を読むために2 小説の書き方・ 語り方と効果	C(1)アウオ (2)イエ 言(7)(1) 漢(7)	P126-134 P135-146 P147	2 3
短歌・俳句 折々のうた 大岡 信 作品	C(1)アウエオ (2)イエ 伝(7)(1) 言(7)(1)	P148-151 P152-157	1 2
評論四 世界は分けてもわからない 福岡伸一 白への跳躍 原 研哉 二十世紀の自画像 加藤周一 評論を読むために4 具体と抽象	C(1)イエオ (2)エ 言(7)(1) 漢(7)	P158-167 P168-173 P174-180 P181	2 2 2
小説三 神 馬 竹西寛子 なめとこ山の熊 宮沢賢治 小説を読むために3 描写から読み取る ◆文学はなんの役に立つか	C(1)アウオ (2)イエ 言(7)(1) 漢(7)	P182-190 P191-205 P206 P207	2 3
表現 1 スピーチ原稿に工夫を加えよう 2 一分間で人を説得しよう 3 話し合いで問題を解決しよう 4 自分だけの物語を作ろう 5 文章や図表を引用してレポートを書こう 6 本の紹介文を書こう 7 説得力のある企画書を作ろう 8 自分の意見を書こう 9 広告のしかけを読み取ろう 10 実用文について考えよう	A(1)アイウエ (2)アイウ B(1)アイウエ (2)アイウ C(1)アイエ (2)イウ	P208-209 P210-213 P214-217 P218-219 P220-221 P222-223 P224-225 P226-227 P228-229 P230-232	A 5 A 5 A 5 B 4 B 4 B 3 B 4 B 3 B 3 B 3
		計	85 時間 (A 15時間) (B 24時間)

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
古文編			
古文を学ぶ 古文入門 児のそら寝／老僧の水練／羅城門	C(1)イ, (2)イ 伝(7)(1) 言(7)(1)	P234-251	5
随筆 徒然草 つれづれなるままに／ 亀山殿の御池に／応長の頃／ 丹波に, 出雲といふ所あり／ 静かに思へば 枕草子 ありがたきもの／ 雪のいと高う降りたるを 表現11 「ものは」づけを作ろう	B(1)ア・イ・エ, (2)ア C(1)ア・ウ・エ, (2)ア・イ 伝(7)(1) 言(7)(1)	P252-265	7 (B 3)
物語 伊勢物語 芥川／東下り／筒井筒／ さらぬ別れ 表現12 古典の世界を現代によみがえ らせよう 竹取物語 かぐや姫の昇天	B(1)ア・ウ・エ, (2)ア C(1)ア・ウ, (2)ア・エ 伝(7)(1) 言(7)(1)	P266-283	7 (B 3)
和歌 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	C(1)ア・ウ・エ, (2)エ 伝(7)(1) 言(7)(1)	P284-293	4
日記と紀行 土佐日記 門出／忘れ貝／ 住吉の明神／帰京 奥の細道 旅立ち／平泉／大垣 俳諧	C(1)ア・ウ・エ, (2)イ 伝(7)(1) 言(7)	P294-311	5
軍記物語 平家物語 祇園精舎／木曾の最期	C(1)ア・ウ・エ・オ, (2)イ 伝(7)(1) 言(7)(1)	P312-320	4
漢文編			
漢文入門 漢文を学ぶ／訓読の基礎／名言	C(1)ア, (2)イ 伝(7)(1) 言(7)	P322-331	4
故事 借虎威／蛇足／朝三暮四	C(1)イ, (2)イ 伝(7)(1) 言(7)(1)	P332-339	4
史伝 晏子之御／鶏鳴狗盗／死諸葛走生仲達	C(1)イ・ウ, (2)イ 伝(7)(1) 言(1)	P340-347	6
詩文 登鶴鶴楼／静夜思／江雪／涼州詞／送元 二使安西／江南春／春望／香炉峰下新卜 山居草堂初成偶題東壁 雑説	C(1)ア・イ・ウ・エ, (2)イ 伝(7)(1)	P348-357	4
思想 論語 孟子 仁人心也 知っていること, 知らないこと 中野孝次	C(1)ア・イ・ウ・エ・オ, (2)イ 伝(7)(1) 言(1)	P358-366	5
		計	55時間 (B 6時間)